

広報 しばた



船岡小学校伝統の鼓笛隊

昭和37年から船岡小学校の6年生に代々引き継がれている伝統の鼓笛隊。

今年が一番の発表の場となる運動会が中止となったため、保護者や地域の方々、下級生に向けた「6年鼓笛を披露する会」で練習の成果を披露してくれました。

かつて船岡小学校に通っていた保護者は当時を懐かしむように、下級生は憧れのまなざしで6年生の姿を目に焼き付けていました。

【11月10日(火) 船岡小学校】

もしものときに備えて

「救急安心カード」

を利用しましょう

「救急安心カード」
を「ご存じですか」

「救急安心カード」とは、かかりつけ医療機関や緊急連絡先、持病、服用している薬などの情報を記入したカードをボトルに入れ、それを自宅の冷蔵庫内に保管することで、急病や災害などの緊急時に駆け付けた救急隊員などが、カードに記入された情報をその場で確認し、医療機関への引き継ぎや緊急の連絡などに役立っているなど、迅速で適切な救急活動につながるためのものであります。

平成22年度から民生委員児童委員協議会と社会福祉協議会、町が共同で利用を促進しています。

救急安心カードを利用することで、高齢者の方々はもちろんですが、普段は離れて暮らすご家族の方々も、もしものときの不安を少しでも和らげることができるはずです。

対象者

次のいずれかに該当し、希望する方

- ・ 70歳以上で一人暮らしの高齢者または高齢者世帯
- ・ 避難行動要支援者
- ・ その他、障害児者のいる世帯などで希望される方

令和2年3月末現在で、町内の70歳以上の高齢者の約3割にあたる2,549人の方々にご利用いただいています。



利用者に配布される救急安心カード、ボトル、シール

緊急時の救急安心カードの活用イメージ

①119番通報



● 救急安心カードがあることを示すシール

救急車をお願いします

②救急活動



● 救急隊による迅速な救急活動

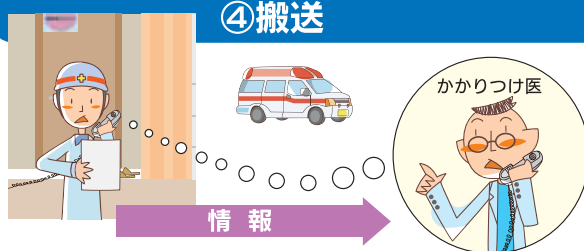
③救急安心カードを確認



● 冷蔵庫の中のボトルから救急安心カードを確認



④搬送



● 救急安心カードを基に適切な対応

ご利用までの流れ

①対象者で利用を希望される方は、町内3郵便局、社会福祉協議会、町福祉課またはお住まいの地域の民生委員児童委員へ利用したいことを伝えます。

②民生委員児童委員が希望者のお宅を訪問します。救急安心カードについて説明し、1世帯に対し、救急安心カード（必要人数分）、ボトル、シール3枚を配布します。

③救急安心カードに必要事項を記入します。シールは、玄関の内側に1枚、冷蔵庫の見えやすい箇所に1枚、ボトルに1枚貼ります。シールを貼ったボトルに救急安心カードを入れ、冷蔵庫に保管します。

ご利用にあたって費用はかかりません。救急安心カード、ボトル、シールも無料で配布します。

もしものときも安心です

4年ほど前に地区の民生委員さんに声をかけてもらって、それから「救急安心カード」を利用しています。

ボトルの中には、カードと一緒に現在飲んでいる薬の処方箋を入れていて、薬が変わったら、忘れずに入れ替えるようにしています。

今は元気に生活していますが、もしものときは呼びかけに答えることは難しいと思いますので、このカードがあることで安心しています。

簡単な手続きで利用できますので、多くの方に利用してもらいたいと思います。



豊島 昭子さん

すでに利用されている皆さんへ

救急安心カードの記載内容は確認していますか。

定期的を確認して、もし変更がある場合は、最新の内容に書き換えておくようにしましょう。

「自宅で急に苦しくなっ
て倒れてしまった」、「災害
が発生し、けがをしてし
まった」などの緊急時は、
初期の対応がとても重要に
なってきます。対応次第で
は、その後の救命にも影響
することも考えられます。
救急安心カードを備えて
おくことで、このような1
分1秒を争う緊急時に、素
早く、適切な対応をとるこ
とができます。

より多くの皆さんの命を
救えるようにするためにも
救急安心カードをご利用く
ださい。

問 福祉課 TEL 55-5010

町内3郵便局との連携

昨年10月に、柴田・槻木・船迫郵便局と町が、地域の活性化や住民サービスの向上に向け、相互の連携を強化することを目的に締結した包括連携協定に基づき、救急安心カード事業のさらなる普及に取り組んでいくことになりました。

連携事項

- 郵便局窓口への救急安心カードやボトルの展示、ポスター掲示による周知活動
- 社員による住民への救急安心カードについての情報提供
- 住民から利用についての問い合わせがあった場合に、窓口となる社会福祉協議会を紹介

住民サービス向上のために



柴田郵便局 大沼 芳則 局長

今回の事業連携は、日頃お世話になっている住民の皆さんへのサービス向上のためという思いで進めてきました。皆さんの安心、そして命を守ることにつながるよう、町内3郵便局の社員一同力を合わせて協力させていただきます。

この事業連携を起点に、町と郵便局との連携をさらに深化させていきたいと考えています。



槻木郵便局の救急安心カードの紹介コーナー

皆さんに知ってほしい

守り、伝えていきたい

「しばたの宝もの」



まだまだあるぞ



素晴らしい宝ものが たくさんある柴田町

多くの皆さんから地域資源や心の宝ものを応募いただき、「伝えたい・残したい・自慢したい、しばたの宝もの」をテーマに、町民の方々による「しばた100選制作チーム」と町が協働で、平成28年3月に制作した「しばた100選」。

あらためて柴田町には、魅力があり、誇りを持てる、美しく素晴らしい宝ものが数多くあることを教えてくれました。

小学校などでも、自分たちの住む地域にある資源を学習するための教材として「しばた100選」が活用されています。

しかし、「しばた100選」に選定されていなくても、町には素晴らしい宝ものがたくさんあります。「しばた100選制作チーム」のメンバーが中心となって結成された「しばた

100選活用チーム」の皆さんは、そのような思いを持っていました。

その思いを形にしたのが「しばた100選」の続編として今回制作された「まだまだあるぞ」「しばたの宝もの」です。

チームのリーダーである豊川光雄さんは、「しばた100選は、地域ごとにある名所や旧跡などの資源に注目して制作しました。今回は、前回の枠にとられないように、こんな風景も宝ものだよねとか、町民が元気に活動しているところも入れたいねなど意見を出し合い、町全体を見て制作しました」と話します。

「まだまだあるぞ」「しばたの宝もの」は、「素敵な町」、「町民が元気に活動する町」、「みんなが築き、守り育てる美しい町」などの7つの項目に分かれていて、合わ

せて46もの宝ものを選定しています。

今回選定したのも、皆さんに「そうそう…」、「そういうものもあるね」などと納得してもらえるものばかりです。

多くの方の協力により制作された「まだまだあるぞ」「しばたの宝もの」。

ぜひ、「しばた100選」と併せて、たくさんの方にご覧になっていただき、柴田町の素晴らしさを知り、きっかけにしてください。



「しばた100選」と今回制作した「まだまだあるぞ「しばたの宝もの」

“まだまだあるぞ「しばたの宝もの」” に掲載されている宝もの的一部

富沢～雨乞への眺望 ー林道雨乞線ー

富沢から林道を通って雨乞へ行く道すがら、突然眺望が開ける場所があり、槻木地区を一望することができます。里山ハイキングの隠れた名スポットとなっています。条件が揃えば素晴らしい雲海が見られ、稲穂で黄金色に染まる槻木耕土は見事です。



不法ビラ・落書きの無い町 &あいさつ運動の取り組み

「青少年のための柴田町民会議」が、1998年から、町内に落書きや不法ビラを絶対許さない取り組みを行っています。また、小・中学校、高校では「あいさつ運動」が続けられていて、子どもたちも自然にあいさつする元気な町になりました。

船迫宿の絵図

第29A行政区の文化事業で絵図をつくり、大光院前や西船迫6号公園など、10カ所に設置しました。昔の船迫の地形や宿場町の様子、白石川の流が良く分かります。絵図掲示板も区民の手作りです。



町のことを知って
好きになってください



しばた100選活用チーム
リーダー
豊川 光雄さん

柴田町のことが大好きなメンバーで、月一回程度集まり、100選のことを知ってもらうための活動を考えています。いろいろなアイデアが出てきて楽しいです。自分たちが楽しくないと、周りにも楽しさが伝わらないという思いで活動しています。

「しばた100選」と「まだまだあるぞ「しばたの宝もの」」は、町外の人向けに制作したものではありません。町民の皆さんに柴田町の魅力を知ってもらいたく制作しました。素晴らしい宝ものがたくさんある柴田町のことを好きになってほしいと思います。

「しばた100選 活用チーム」の活動

①しばた100選を 見てみよう！

しばた100選の地を巡るバスツアーを実施していきます。毎回、参加者の募集を開始すると、すぐに定員に達してしまう人気のイベントです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施していませんが、毎年3回程度実施していますので、実際に足を運んで、柴田町の魅力を感じてください。

②各小学校の宝ものを 紙芝居にして伝承

町内の各小学校に伝わる昔話や宝ものにまつわる話を紙芝居にして、子どもたちに伝承する活動を行っています。

これまで槻木小学校の「六兵衛さん」、柴田小学校の「白山神社の夫婦桜」、

西住小学校の「天女の松」の紙芝居を作成し、子どもたちに披露してきました。

現在は、東船岡小学校の「チャイムの鳴らない東船岡小学校」の紙芝居を作成中で、今後は、他の小学校の紙芝居も作成する予定です。

③しばた100選 かるた

かるたで、柴田町の素晴らしいところを知ってもらえたらという思いで、現在作成中です。

楽しみながら、しばた100選を覚えてもらえたらと思いますので、完成までもう少しお待ちください。

柴田町には、これまでの長い歴史や文化により育まれてきた、たくさんのお宝ものがあります。これらを含んだ宝ものとして、これからも大切に守り、未来へ伝えていきたいと思います。

問 まちづくり政策課

TEL 5412111



ふるさと柴田応援寄附金

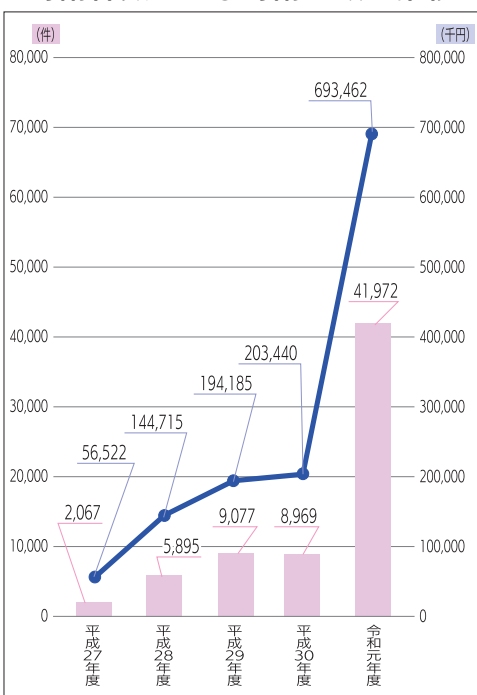
柴田町が好きで応援したい。
ふるさとの柴田町を元気にしたい。
皆さんの思いが詰まった、
たくさんの方の寄附をいただきました。

全国からの たくさんの方の応援で 柴田町が元気に

毎年、柴田町に全国の皆さんからたくさんの方の寄附といた形の応援をいただいています。皆さんからの応援は、年々増加し、令和元年度は、平成30年度より件数が3万3,003件増の4万1,972件、金額が4億9,002万2,320円増の6億9,346万2,320円となり、どちらも大幅に増加し、過去最高となりました。

これまで「花のまち柴田」のブランド化をステップアップさせ、観光まちづくりやシテイプロモーション活動を積極的に進めてきました。その結果、柴田町の知名度が一段と高まり、柴田町のまちづくりと共に感じ、応援していただける方々の増加につながっています。また、寄附をしていただいた皆さんへ、お礼状と共に贈る返礼品は、町内の事業所などからご協力をいただいています。皆さんに喜んでいただけるよう、魅力ある返礼品の開発を行っており、この返礼品も大変好評です。

寄附件数および寄附金額の推移



さらに、昨年の台風19号に伴う被害への心温まる寄附も多くの方々からいただきました。全国の皆さんからの応援は、地域経済の活性化にも大きな効果をもたらし、町がどんどん元気になっていきます。そして、今年度のふるさと柴田応援寄附金の状況で

ですが、現時点で、過去最高だった昨年度をさらに上回る見込みとなっています。こうした勢いをさらに加速させるためにも、柴田町の魅力に磨きをかけ、今以上に知名度を高められるようにシテイプロモーション活動に取り組み、新たに柴田町を応援していただける方々を増やしていきます。これからも、柴田町のことを応援していただいている皆さんの思いを大切に、「笑顔があふれ 誇りと愛着を育む 花のまち」の実現に向けたまちづくりを展開していきます。

**令和元年度
ふるさと柴田応援寄附金
の使い道**



令和2年度のさまざまな事業に有効に活用させていただいています。

柴田町では、寄附をしていただく皆さんにどのような事業に活用してほしいのか、使い道を選択していただき、町の大切な財源として、町政運営に役立てていきます（選択しない場合は、町が用途を決定）。

令和元年度に全国の皆さんからいただいた寄附金は、

令和元年度ふるさと柴田応援寄附金申し込み用途別一覧

	用途	件数	寄附金額
1	桜のまちづくりに関する事業	3,151件	48,842,000円
2	教育に関する事業	3,412件	56,617,000円
3	福祉に関する事業	1,829件	29,800,000円
4	まちづくり（地域づくり）に関する事業	995件	16,160,000円
5	総合体育館建設に関する事業	179件	2,970,000円
6	図書館建設に関する事業	371件	10,660,000円
7	学校給食センター建設に関する事業	933件	15,625,000円
8	自治体におまかせ	31,102件	512,788,320円
	合計	41,972件	693,462,320円

1 桜のまちづくりに関する事業

- ・ さくら育成管理
- ・ 公園樹木等管理
- ・ 船岡城址公園山頂展望デッキ設置
- ・ 公園遊具更新
- ・ 桜の小径トイレ設置

2 教育に関する事業

- ・ 英語指導助手派遣業務
- ・ 船岡小学校体育館床改修
- ・ 槻木小学校教室内流し改修
- ・ 槻木小学校家庭科室改修
- ・ 船岡中学校校舎建具鍵改修
- ・ 学校用備品購入 など

3 福祉に関する事業

- ・ 社会福祉協議会事業運営補助 など

4 まちづくり（地域づくり）に関する事業

- ・ 地域づくり交付金
- ・ まちづくり推進センター運営業務

5 総合体育館建設に関する事業

- ・ スポーツ振興基金積立金

6 図書館建設に関する事業

- ・ 図書館建設基金積立金

7 学校給食センター建設に関する事業

- ・ 学校給食センター建設等整備基金積立金

8 自治体におまかせ

- ・ 西住地区転落防止柵新設改良
- ・ 町道船迫28号線ほか路面標示新設改良
- ・ 防犯灯新設改良
- ・ 太陽の村冒険遊び場整備事業補助
- ・ 障害者就労支援事業所設備整備等補助
- ・ 子育て支援アプリ整備事業
- ・ 花き生産販売戦略対策事業補助
- ・ 西船迫一丁目地区雨水対策調査
- ・ 一般町道維持改修
- ・ 古河水門開閉装置改修
- ・ まちなか景観形成業務
- ・ 土のうステーション設置 など

問まちづくり政策課

Tel 5412111



用水路への転落を防ぐための柵設置（西住地区）に活用



児童、生徒の英語教育強化のための英語指導助手の派遣業務に活用

柴田町自治功労者及び町政功労者表彰式

柴田町自治功労者 及び町政功労者表彰式

令和2年度



10月28日(水)、「令和2年度柴田町自治功労者及び町政功労者表彰式」が、槻木生涯学習センターを会場に行われました。

式典では、防災、教育、民生などの各分野で町政の振興・発展のために多大なる貢献をいただいた22人、10団体の方々の功績をたたえ、賞状と記念品が贈られました。

表彰を受けられた方々は、次のとおりです。(敬称略・順不同)

問 総務課 TEL55-2111

叙勲受章者(披露)

【旭日単光章】
地方自治功労

故・杉本 五郎
(北船岡一丁目)

【瑞宝小綬章】
教育功労

高橋 勲 (西船迫一丁目)

【瑞宝双光章】
防衛功労

大場 國衛 (槻木西三丁目)
兼子 啓次 (船岡東四丁目)
阿部 一正 (船岡字七作)

消防功労
佐藤 賢一

(入間田字内海道)

【瑞宝単光章】
防衛功労

荒川 信幸 (船岡字新生町)
櫻井 一夫 (船迫字川前)

看護業務功労

我妻 代志子
(船岡新栄三丁目)

自治功労者

【多年にわたり民生委員・児童委員として民生の安定に貢献】

星 公子 (槻木新町一丁目)

【多年にわたり行政区長として地方自治振興に貢献】

吉田 功 (船岡字清住町)

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

佐久間 光洋

(船岡字若葉町)

加藤 晃 (富沢字赤柴)

平間 一彦 (入間田字関根)

菊地 克浩

(入間田字屋敷沢)

岩間 正二 (成田字倉元前)



町政功労者

【多年にわたり就学支援審議会委員として教育行政に貢献】

我妻 よう（槻木東二丁目）

【多年にわたり社会教育委員として社会教育の振興に貢献】

櫻井 博（四日市場字坂本前）

【多年にわたり人権擁護委員として人権思想の普及高揚に寄与】

渡邊 みち子
（槻木下町二丁目）

木島 基子（西船迫二丁目）

【多年にわたり消費者行政の充実に寄与】

日下 信子
（船岡土手内一丁目）

【町内保育所等に図書購入費として金員を寄附】

武山 テル子
（北船岡一丁目）

【多年にわたり消防団員として消防防災に尽力】

飯淵 惣一（船岡字清住町）

千葉 孝治（船岡字新田）
西塚 哲也（角田市角田）

日下 義信
（入間田字鴻ノ巣）

鎌田 広重（入間田字古内）

卯花 利一（葉坂字女蔵）

近江 英樹（成田字山ノ上）

加納 智弘（船岡字新生町）

【多年にわたり交通指導隊員として交通事故防止に尽力】

森 裕樹（槻木下町三丁目）

【敬老祝品として老眼鏡を寄贈】

株式会社メガネの相沢
（仙台市青葉区）

【西住児童館及びむつみ学園にエアコンやワイヤレスアンプを寄贈】

株式会社登勇管工設備
（下名生字上納）

【LED防犯灯を寄贈】

東北電力ネットワーク株式会社
白石電力センター
（白石市字半沢屋敷前）

【LED防犯灯の取り付け工事一式を寄贈】

株式会社ユアテック

白石営業所
（白石市東町三丁目）

【令和元年台風19号豪雨により町道に堆積した土砂等の撤去作業を寄贈】

柴田町建設工事協議会
（船岡中央三丁目）

【令和元年台風19号豪雨復旧費用として金員を寄附】

株式会社

神鋼環境ソリューション
（兵庫県神戸市）

神鋼環境メンテナンス株式会社
（兵庫県神戸市）

株式会社
（兵庫県神戸市）

データホライゾン
（広島県広島市）

元旦ビューティ工業株式会社
（神奈川県藤沢市）

株式会社
（神奈川県藤沢市）

【肥料入培土を寄贈】

ジェイカムアグリ株式会社
（東京都千代田区）



民生委員・児童委員として 民生の安定に貢献

星 公子さん
（槻木新町1丁目）

このたびは、このような栄えある章をいただき、身に余る光栄と心から感謝しております。

私が、16年間、町の民生委員・児童委員として、地域の方々に寄り添い、活動を続けることができたのは、町内の民生委員の方々のご支援と家族の理解があったからだと思っております。

これからも地域の方々の相談相手となり、行政機関へとつなぐパイプ役として努力をしていきたいと思っております。



代表であいさつを述べられた櫻井博さん。



町長からお一人お一人に賞状と記念品が手渡されました。



171

柴田町長 滝口 茂

今年は、新型コロナウイルスに翻弄された一年となつてしまいました。戦後初めてとなる緊急事態宣言が発令されたことで景気が落ち込み、リーマンショックを上回る経済危機に見舞われることになりました。

特に地方は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を柱に、観光交流を掲げ地域の活性化に取り組んできただけに、今回のコロナ禍の影響によるインバウンド客の激減や、国内移動の自粛、大型イベントの中止は、地方経済に大打撃を与えることになりました。

やっとここにかけて、国の「GOTOラベル」や「GOTOイート」によって、緊急事態宣言時よりも経済活動に回復傾向が見られますが、このまま来年もコロナ禍が続けば、観光交流をメインとした地方創生戦略はジリ貧となりかねません。今こそ地方創生に向けて、新たな切り口からのアプローチが必要となっております。

幸いにも、今回のコロナ禍の中で取り組まれたテレワークやリモート会議が、地方においても支障なく行われたことで、都市と地方との間に心配されていた情報格差が少なくなりました。

また、過密とは無縁の快適な空間の中で、

アフターコロナのまちづくり

さまざまな人と関わりながら、多様な生活体験ができる、地方での暮らしに関心が高まりました。こうしたコロナ禍に伴って生じた働き方や生活スタイルの変化は、今後のまちづくりへの大きな刺激になるのではないかと思います。密を避けた新たな生活様式や、交流人口でも定住人口でもない、その間の「関係人口」の拡大こそが、地方創生戦略の新たな視点となります。

特に、今注目を集めているのが、平日は仕事場のある都市で暮らし、週末や休日は田舎で過ごすといった二つの生活拠点を持つ、「二地域居住」です。こうした新たな暮らし方に関心を持つ方々に対し、柴田町の魅力や住み心地の良さをアピールし、新たな関係性を深めるまちづくりが進められればと思います。

アフターコロナにおいては、必ずや過密した都会から、自然が豊かで、ゆとりある地方へと人の流れが加速してくるはずですよ。

多くの若者がアフターコロナのネクストステージとして、柴田町でなりわいを見つけ、自由な時間を満喫した中で、豊かな人生が歩めるよう、情報環境の整備や居住空間の提供、起業家支援といった、移住定住対策に力を入れなければならないと思います。

しばた歴史探訪

第9回 三名生の歴史

上名生・中名生・下名生の地名には、それぞれ「名生」がついています。「名(みよ)う」とは、平安時代から中世にかけての公領(その国に派遣された役人・国司が支配する領地)や荘園(有力者のもつ私有地)において、税を取り立てるための単位をいいます。そこでは、農民が割り振られて耕作と納税に当たったことから、自らの名前をつけて「○○名」などと呼ぶようになりました。その「名(みよ)う」に「生」の字をつけて「名生」としたものとされています。これらの地名が初めて古文書に現れるのは、16世紀のことです。

昨年、下名生で、ほ場整備事業に伴う発掘調査が行われました。調査されたのは、清水遺跡・宮前遺跡・西館館跡。阿武隈川に注ぐ旧河川によつて造られた自然堤防(氾濫によつて運ばれた土砂が造った微高地)の上にあります。清水遺跡では、溝や井戸の跡縄文土器、古墳時代前期(4世紀)や古代の土師器が少量出ています。宮前遺跡では、古代の竪穴住居と思われる遺構や土坑(穴)、溝などが見つかりました。西館館跡からは、古墳時代中期(5世紀)以降の井戸や溝の跡が出ています。こうしたことから、この地域には人々が阿武隈川の舟運の利便性を期待して、4世紀頃から定着し始めたと考えられます。

また、江戸時代頃から水田として利用されていたこの地域が、現在まで何度か洪水に見舞われながらも、その都度人々の努力によつて復旧してきたことがこの発掘で明らかになりました。

しばたの郷土館

☎551-0707



しばたの郷土館では「発掘速報展」として、三名生地区で発掘された遺物を12月11日(金)まで展示



☎健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第74回のテーマは、「適正飲酒」についてです。

国は「健康日本21」の中で、通常のアアルコール代謝機能を有する日本人の適度な飲酒は、純アアルコール量で1日平均20g程度と定義しています。また、女性や高齢者などは、これより少なくすべきとしています。

純アアルコール量 計算式：アアルコール度数(%)÷10×量(ml)×0.08＝純アアルコール量(g)

例えば、ビール(アアルコール度数5%)中ジョッキ1杯(500ml)に含まれる純アアルコール量は $5(\%) \div 10 \times 500(\text{ml}) \times 0.08 = 20(\text{g})$ となります。

純アアルコール量 20g に相当する酒量

 日本酒(15%) 1合(180ml)	 ワイン(12%) グラス2杯(200ml)	 チューハイ類(7%) 缶1本(350ml)	 ウイスキー(40%) シングル2杯(60ml)
---	--	--	--

アアルコールと肝臓

大量のアアルコールを飲むと肝臓に負担がかかり、中性脂肪の代謝機能が低下するため脂肪肝になります。また肝臓は沈黙の臓器と呼ばれ、自覚症状が乏しく重症化するまで気付きにくいいため注意が必要です。

肝臓が悪くなると現れやすい症状

- 吐き気がしたり、嘔吐したりする
- 手のひらが赤い
- 体のあちこちがかゆい
- 皮膚に小さな赤い発疹が出る
- 尿の色が濃くなった
- 急にお酒に弱くなった
- 男性なのに胸がふくらんできた
- 白目が黄色い
- 腹部の右上が重苦しい

気を付けたいアアルコール習慣

1. **1日の適正量を守り、多くてもほろ酔いでストップ**
立つとふらつくようになる前の、ほろ酔いの状態でストップしましょう。
2. **笑い合いながら、楽しく**
お酒の強要や一気飲みは危険です。会話や食事を楽しみながらマイペースで飲みましょう。
3. **薬とお酒を一緒に飲まない**
薬とお酒を同時に飲むと、肝臓ではお酒を先に分解します。肝臓の負担になるばかりか、薬によっては昏睡状態を引き起こす可能性があるため絶対にやめましょう。
4. **食べながら飲む習慣を**
空腹時の飲酒は、血中アアルコール濃度を一気に高め、胃炎や食道の潰瘍の原因にもなります。脂肪の少ない高たんぱく・高ビタミンのおつまみを一緒に食べましょう。
例) 枝豆、冷ややっこ、白身魚やイカの刺身、野菜の煮つけ、焼き鳥など

保健師からのワンポイントアドバイス お酒は「百薬の長」と呼ばれるように、適量であれば高血圧、虚血性心疾患、脳梗塞を引き起こす動脈硬化の予防に繋がります。しかし、飲み過ぎると肝臓病や胃腸病だけでなく心臓病、糖尿病など全身にわたる病気を引き起こします。節度ある飲酒でお酒を味方につけましょう。



まちかど NEWS



同県対決の決勝戦に多くの観客が詰め掛けました。



激戦を戦い抜いた柴高ナイン。

「夢実現」へ柴高野球部準優勝

10月20日(火)、秋季東北地区高等学校野球大会の決勝が石巻市民球場で行われ、春夏通じて初めての甲子園を目指す柴田高等学校が、仙台育英学園高等学校に挑みました。東北各県の優勝校を次々に破り、決勝まで駒を進めた柴田高校でしたが、結果は惜しくも準優勝。しかし、柴高ナインの雄姿に、スタンドからは大きな拍手が送られました。この結果を基に、来年1月29日(金)に、来春のセンバツ出場校が選考される予定です。

しばたオータムガーデンフェスタ

10月31日(土)、11月1日(日)、船岡城址公園で、しばたオータムガーデンフェスタが開催されました。屋外コンサートや寄せ植え講習会、軽トラックの荷台に箱庭を作る軽トラガーデンのデモンストレーション、産直市などに、二日間で延べ2,000人の方が訪れました。友人と6人で訪れた高盛富士子さん(下名生)は、「いろいろな花を見て名前を覚えたり、催し物を楽しんだりすることができて良かったです」と話してくれました。



8組のアーティストによるコンサートも盛況でした。

広 告

広 告

100歳おめでとうございます



今でも畑に出て野菜作りを行う元気な吉村さん。

船岡土手内3丁目の吉村かねさんが、10月22日(木)に100歳を迎えられました。丸森町出身の吉村さんは、75年前に結婚して柴田町に移られ、4人のお子さんと13人ものお孫さんに恵まれ、現在でも病院に通うこともなく、元気で健康に過ごされています。

24日(土)には多くの親族の方に囲まれながら、100歳のお祝い会が行われ、吉村さんは、「ありがとう」と喜ばれていました。

いつまでもお元気でいてください。

キッズバイクパークで初の公式戦



200人を超えるちびっこライダーが熱戦を繰り広げました。

11月14日(土)、柴田町太陽の村キッズバイクパークで初めての公式戦となるストライダーエンジョイカップが開催されました。

年齢ごとにクラス分けされ、自慢のキックバイクに跨った子どもたちが、優勝を目指してコースを駆け抜けました。

4才クラスのレースに参加した浅野孝久ちゃん(福島県)は、「とても緊張して疲れたけれど楽しかったです。また大会に出たいです」と笑顔で話してくれました。

第15区でビオラを植栽



植栽後は、彩り豊かで華やかな歩道になっていました。

11月15日(日)、第15区の皆さんが、槻木駅西の歩道の花壇の花植えを行いました。

第15区では、14年ほど前から、人通りの多い駅前の花壇に、春にマリーゴールド、秋にビオラを植える活動を行っています。参加した皆さんは、色のバランスなどを考えながら、丁寧に植えていました。

上島吉子さんは、「花を見て穏やかな気持ちになってもえたらという思いで植えています。多くの人にきれいだと言ってもらえるのでうれしく思います」と話していました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

短歌

川柳

俳句

<p>咲き残る白粉の花は陽に窄む 楓木 平岡 三郎</p> <p>露寒に粥を食して温む朝 船岡 可沼 妙子</p> <p>モミジ舞うイオウ湯けむり地獄谷 四日市場 鳥井崎七十老</p> <p>秋深し巨理の名所を歩人仲間 西船迫 安ヶ平奈津枝</p> <p>本としてスター気分秋夜長 船岡 安藤 節子</p> <p>照紅葉影揺れおりし青麻山 西船迫 飛鳥</p> <p>虫ひとつ遠き声なり途切れけり 西船迫 佐藤 厚子</p> <p>カリンの実ずしりと重き匂ひかな 中野西範子</p> <p>空ラ元氣も八十路の力帰り花 石垣テル子</p>	<p>餌足りず冬眠不能な熊哀れ 楓木 平岡 三郎</p> <p>命より理念が重いカラクニは 四日市場 鳥井崎七十老</p> <p>何事もプラス思考で腹立てず 船岡 阿部美代子</p> <p>秋晴れに色づく木々の通学路 西船迫 H・G</p> <p>我輩は濃厚接触者にあらず 西船迫 安ヶ平良三</p>	<p>旅の果て君は空へと秋の虹 制野 千秋</p> <p>登高や背に地酒と握り飯 遊佐 徹</p> <p>秋の野のそなたは誰ぞ前方後円墳 山家美智子</p> <p>兄逝きて背ナを偲びし冬日和 三塚 直樹</p> <p>柿干して蔵王おろしに託しけり 及川美沙子</p> <p>粟御飯ほおばる笑みが誉めことば 若月ノリ子</p> <p>来し方のあらずちとなり牛膝 大久保和子</p> <p>ブラインドの隙間に秋の潮が満つ 浪山 克彦</p> <p>我れ庭にトンボ飛び交いアラ嬉し 楓木 加藤 節子</p> <p>天高く何処へ行くのか飛行雲 楓木 大宮広四郎</p> <p>行きずりの掌が量りみる稲穂かな 楓木 加藤 マサ</p> <p>コスモスを愛てる女あり女兒と二人 北船岡 日下 功</p> <p>重し石昔つけ物今ゴミつぶし 船岡 小林 夢子</p>
<p>マイナンバー写真を撮りに自販機に 出てきた写真にシヨック受け 西船迫 下浦 智子</p> <p>コロナ禍の新生活の集まりの オンライン会ヤングに学ぶ 船岡 可沼 妙子</p> <p>紅葉の山を見ながら入る湯に モミジひらひら散りゆく命 四日市場 鳥井崎七十老</p> <p>老夫婦して思い巡らす友の山 船岡 伊藤タイ子</p> <p>蜻蛉の案内曼珠沙華 船岡 伊藤タイ子</p> <p>もしかして50代にもどつたら 仕事に集中趣味もそこそこ 西船迫 安ヶ平良三</p>	<p>折り鶴の折り方忘れ手が止まり 孫の振り見て思い出してる 本船迫 森田 眞六</p> <p>菊まつり輪台をつけた大輪も良いけど しっかりと古木に根を張る小菊が好き 船岡 大庭とみ</p> <p>赤蜻蛉のどかにとびて晩秋の 陽ざしのなかに一抹の淋しさ 船岡 沢田 順子</p> <p>秋の空色づく稲穂風に揺れ 黄金の波に集るすずめ 楓木 白石 光子</p>	

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで12月10日(木)までご応募ください。 図 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



地域貢献し隊

本校は、校歌に「町人もみんなかがみさ先生さ」と歌われていることからお分かりいただけるように、開校当初から地域とともに子どもを育んできた学校です。昨年度、地域に根ざした学校づくりの体制を再構築し、「コミュニティ・スクール」としての出発を果たしました。今回は、子どもたちが生まれ育った地域に愛着を持ち、「地域貢献し隊」の素地となる感謝の心を育てている教育活動をご紹介します。

1 ふるさとの音色 西住地区夏祭りのお囃子

西住地区夏祭りのお囃子は、「しばた100選」に選出された文化継承活動です。子ども会育成会の方々の協力を得て、この伝統文化を受け継ぐ活動を行ってきました。今年は残念ながら中止となってしまいましたが、毎年、夏祭りでお囃子を披露しています。

子どもたちは、地域の皆さまがお囃子の音色で夏の夜のひとときを楽しんでいただけるように一生懸命取り組んでいます。自分たちの育った地域への愛着と、お世話になった方々への感謝の気持ちを、お囃子の音色にのせて届ける伝統が長く続いてほしいと願っています。



夏祭りで披露した伝統のお囃子

2 公園花いっぱい笑顔いっぱい活動

本校の学区は、第30区の単一行政区です。行政区長さんを始めとする地域の皆さまには、「おらほうの子どもたち」として、温かいご支援をいただいています。特に、1・2年生は、生活科の学習でサポートをいただくことが多いため、そのお礼として、行政区内の公園の花壇づくりをお手伝いしています。

地域の皆さまと一緒に花の苗を植えながら、笑顔も咲き揃う素敵な活動です。花に目をとめてくださる方が笑顔になっていただけるようにと思いを込めて活動に取り組んでいます。



地域の方々に見守られながら行った公園での植栽活動

3 手作りのボランティア感謝の会

本校では、3年生の総合的な学習の時間に、スクールガード・リーダーの皆さまを始めとする学校支援ボランティアの方々に感謝の気持ちを届ける学習を行っています。子どもたちが企画や準備をして地域の方々をお招きする活動を通し、皆さまに温かく見守り支えていただいていることを再確認する重要な学習です。この学びが高学年の自主性につながり、地域に貢献したいという心が芽生えるのだと感じています。

これからも「地域貢献し隊」の第一歩として大切に継続してまいります。



ボランティアの皆さんと一緒に給食を食べながら感謝の気持ちを伝えました

〔西住小学校長 佐々木 美奈子〕

広 告

広 告

安心・安全な食品をお届けするため、 向上心を持って日々勉強中

マルトモ株式会社仙台工場

早坂 未来さん（20歳・写真右）
富塚 沙奈さん（19歳・写真中央）
大久 愛美さん（20歳・写真左）

今回は、水産物を用いた加工食品や、だ
しやたれの製造を手掛けるマルトモ(株)仙
台工場の早坂未来さん、富塚沙奈さん、大
久愛美さんをご紹介します。



入社2年目の大久さんと、入社1年
目の富塚さんは、調合部門に所属し、
「おでんのつゆ」や「中華スープ」、
「ラーメンのスープ」などを作るため
の液体原料の計量作業を行っています。
充填部門に所属する入社2年目の早坂
さんは、調合部門で製造した食品を充
填機で袋詰めする作業を担当していま
す。

高校卒業後に入社し、社会人として
仕事をするのが初めての3人に話を
伺うと、大久さんは、「原料の計量では、
少しでも計り間違えると商品になりませ
ん。以前に計量を間違ってしまった、迷
惑をかけてしまいました」。また、早坂
さんは、「充填機は扱いが難しく、微調
整しながら作業します。それが上手く
いかないと製造が止まってしまったため、
常に緊張感をもっています」、富塚さん
は、「食品を扱う仕事なので、万が一、
異物が混入してしまうと大変な事にな

るため、細心の注意を払いながら作業
しています」と話すように、3人とも仕
事に対する責任の大きさを感じていま
した。

一方で、日々経験を重ねることで、
自分でできる仕事が増えていくことが
嬉しく、やりがいを感じているとも話
してくれました。

また、3人とも担当の仕事以外にも
女性目線で業務などを改善するプロ
ジェクトで表彰を受けたり、全社で使
われる啓発ポスターの作成を担ったり
しています。

今後の目標について伺うと、皆さん、
まだまだ上司や先輩に頼っている事が
多く、助けられながら仕事をしている
ため、早く一人で仕事をこなすことが
できるようになりたいと話し、向上心
を持って仕事に向き合っていました。
これからもその向上心で頑張ってく
ださい。

高速充填機の調整を行う
早坂さん。



液体原料の計量を行う
大久さん。



社員の衛生チェックを行う
富塚さん。



マルトモ株式会社仙台工場
榎木字菅ヶ崎63-1 TEL58-8666

平成7年、仙台第一工場操業開始。平成
21年、仙台第二工場を稼働。業務用のだ
しやたれの製造を手掛ける。
従業員31人

人口と世帯数
(令和2年11月1日現在)



37,629人
(前月比32人増)



18,794人
(前月比19人増)



18,835人
(前月比13人増)



16,012世帯
(前月比23世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。